

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 17 日

事務事業名		歴史的建造物管理運営事業				事業区分		担当		
		政策体系上の位置付け				新規/継続	新規	事務事業No.	020502001082	
総合計画の施策名		0205	文化財の保存活用			単独/補助	単独	所属課	060201 都市整備課	
政策体系	政策名	02	生きがいを育む学びのまちづくり					課長名		
	施策名	05	文化財の保存活用					グループ	都市政策G	
	手段名	02	②文化財の活用					担当者名		
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	一般会計				
	01	08	04	05	01	00	伝統的建造物群保存地区推進事業			
法令根拠	文化財保護法・桜川市旧真壁郵便局の設置及び管理に関する条例・同施行規則					同施行規則・桜川市旧高久家の設置及び管理に関する条例・同施行規則				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	<p>【旧真壁郵便局及び旧高久家住宅】 管理業務・施設貸出を行う。旧真壁郵便局については一般に開放されており、施設内を自由に見学可能 (年末年始を除く)、また来訪者への便利施設 (公衆トイレ) としても供用されている。旧高久家に関しては営利目的での使用も可能で、地域活性化の拠点となる施設となっている。どちらの施設も条例により有償で貸出をしており会議や催事に使用できる。</p> <p>【旧木村家住宅】 令和4年度に旧木村家住宅の土地買上事業を実施し、建物に関しては寄贈を受けた。買上事業を完了後、公開活用できる施設としての計画を作成し、供用開始に向けて事業を進めていく。</p>	<p>光熱水費の支払い 土地所有者との交渉 土地賃貸借契約の管理 土地借り上げ料の支払い 管理委託費の支払い 貸出申請の受付及び事務処理</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
光熱水費の支払い 管理委託費の支払い 貸出申請の受付及び事務処理	貸出日数	日	339.00	360.00	360.00	360.00	360.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
市民・来訪者・使用者 (使用団体)	市民	人	36,794.00	36,120.00	35,356.00	34,734.00	34,112.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
文化財を適切に管理し利活用を促進することで文化財の歴史的価値を共有する。また、文化財の新たな継承の形を構築する。	公開日数	日	339.00	360.00	360.00	360.00	360.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	千円	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
		国庫支出金	千円	0	0	0			
		県支出金	千円	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0			
		使用料・手数料	千円	35	179	120			
		その他	千円	0	0	0			
		一般財源	千円	715	1,363	2,207			
		事業費計 (A)	千円	750	1,542	2,327			
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人				

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)			07年度事業費 予算 (千円)			
	10 需用費	965		10 需用費	486		
	11 役務費	76		11 役務費	87		
	12 委託料	191		12 委託料	1,420		
	13 使用料及び賃借料	310		13 使用料及び賃借料	326		
				18 負担金補助及び交付金	8		
			合計	1,542		合計	2,327

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	<ul style="list-style-type: none"> 光熱水費の支払い 土地借り上げ料の支払い 管理委託費の支払い 貸出申請の受付及び事務処理 旧木村家住宅活用方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 光熱水費の支払い 土地借り上げ料の支払い 管理委託費の支払い 貸出申請の受付及び事務処理 旧木村家住宅活用方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 光熱水費の支払い 土地借り上げ料の支払い 管理委託費の支払い 貸出申請の受付及び事務処理 旧木村家住宅活用方法の検討

事務事業名	歴史的建造物管理運営事業	事務事業No.	20502001082	所属課	都市整備課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
【旧真壁郵便局】平成22年度に公有化し開始された。開始時期と現在まで事務事業の内容に大きな変化はない。 【旧高久家住宅】平成23年度に公有化し開始された。令和5年度に使用料を改正し、チャレンジショップとしても活用を開始した。 【旧木村家住宅】東日本大震災時、文化庁より適切な措置を取る旨指導があり所有者との間で公有化に向けて交渉を進めてきた。令和4年度に土地を購入し、建物は寄贈を受けた。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
【旧真壁郵便局】市民団体が催事で利用する場合は商工観光課での申請が多い。 【旧高久家住宅】常時開放して欲しい、桜川市の物産などを紹介する場にして欲しい、催事を多く開催して欲しい等の意見がある。 【旧木村家住宅】保存はもちろん公開・活用に向けた事業を進めていく必要がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている いずれの施設も重要伝統的建造物群保存地区の中心部に立地している。当該施設を適切に管理し公開していくことは景観価値の向上、地域活性化、及び文化財の継承の形の構築を推進するものであり、市の政策体系に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 歴史的価値、重要伝統的建造物群保存地区内の立地、景観や観光行政等の観点から、妥当である。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 施設内の展示物の更新や市HPでの利用案内等を行うことで、成果向上が見込める。また、商工観光課やヤマザクラ課、文化財課との協働で、観光振興、地域活性化等に成果向上が期待できる。
効率性	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 当該施設は重要伝統的建造物群保存地区内の中心部に立地し、地域のモデルケースとなる施設である。休廃止をすることで、活気あるまちづくりに対する機運の低下が懸念され、また伝建・景観・観光行政に与える影響は計り知れない。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる ・指定管理者制度の導入 ・地域活性化、観光部局への事業の移管
	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 現在の事業費は義務的な経費となっている。市民団体等を指定管理者にして、維持管理を行うことができれば維持管理費の削減を図れる可能性がある。
⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 利用に制限を設けておらず、また貸出料金も光熱水費に該当する分としている。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	【旧真壁郵便局】清掃業務や消防施設点検を行い、清潔かつ安全に使用できる環境を維持した。 【旧高久家住宅】チャレンジショップとして活用することで通年で使用されるようになり、賑わい創出に寄与することが期待される。 【旧木村家住宅】サウンディング調査等を実施し、施設の有効な活用方法や運営方法を検討している。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	成果	向上	コスト			削減	維持	増加		○				維持					低下				
成果	向上			コスト																				
		削減	維持	増加																				
	○																							
維持																								
低下																								
指定管理者制度の導入や地方創生・観光部局への事業の移管を含めて活用方法を検討する必要がある。	(6) 事務事業優先度評価結果																							
	成果優先度評価結果 ②																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>